

あの日から間もなく5年が経ちます。陸上では少しずつ復興の様子が見えてきましたが、海の中はどうなっているのでしょうか。あれだけ大きな地震と津波は海の中をどう変え、そこにかつて棲んでいた生物たち、とりわけ私たちの食卓を賑わせてくれた様々な魚介類はどうなっているのでしょうか。そして将来は——？

これらの疑問に関する研究者からの報告に続いて、実際に海辺で漁業や様々な活動をされてきた方、そして若い学生から意見を頂き、私たちが海とどのように接していくべきかを明らかにしていく予定です。震災後の東北の海に関心を持つ全ての方々、とりわけ若い方々の参加と活発な議論を期待しています。

東北マリンサイエンス拠点形成事業 公開シンポジウム

東北の海の明日

2016年 3月4日 (金)

16:00 - 20:00

東京大学農学部 弥生講堂 入場無料

東京都文京区弥生 1-1-1 <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/index.html>

東京メトロ 東大前駅(南北線)徒歩1分 根津駅(千代田線)徒歩8分

第一部：海からのメッセージ —講演— 16:10 - 17:40

海の攪乱	豊福 高志	海洋研究開発機構
サケから見た震災	北川 貴士	東京大学大気海洋研究所
漁場の生物の反乱	吾妻 行雄	東北大学大学院農学研究科

第二部：海研究へのメッセージ —パネルディスカッション— 18:00 - 20:00

司会： 滝澤美奈子	科学ジャーナリスト
パネリスト： 山根 幸伸	宮古漁業共同組合理事 —漁業者の立場から
佐藤 達也	ざっこClub 代表 —海辺での様々な活動を通して
安藤 みゆき	生物多様性わかものネットワーク —生き物の多様性の視点から
木島 明博	東北マリンサイエンス拠点形成事業代表

参加申し込み

<https://webpark1662.sakura.ne.jp/symposium/public/>

事前にWEBサイトにて2月25日までに参加申し込みをして下さい。

東北マリンサイエンス拠点形成事業 公式WEBサイト

<http://www.i-teams.jp/j/index.html>